

# 2017年 梅雨のまとめ

平成29年9月1日 新潟地方气象台

## 1 梅雨入り・明けの時期

事後検討（注1）による2017年の梅雨入り・明けの時期（注2）は表1のとおりである。

表1 今年の梅雨入り・明けの時期

| 地域名       | 梅雨入り                     | 梅雨明け                    |
|-----------|--------------------------|-------------------------|
|           | 今年 (平年)                  | 今年 (平年)                 |
| 沖縄        | 5月13日ごろ (5月9日ごろ)         | 6月22日ごろ (6月23日ごろ)       |
| 奄美        | 5月13日ごろ (5月11日ごろ)        | 6月29日ごろ (6月29日ごろ)       |
| 九州南部      | 6月6日ごろ (5月31日ごろ)         | 7月13日ごろ (7月14日ごろ)       |
| 九州北部      | 6月20日ごろ (6月5日ごろ)         | 7月13日ごろ (7月19日ごろ)       |
| 四国        | 6月20日ごろ (6月5日ごろ)         | 7月13日ごろ (7月18日ごろ)       |
| 中国        | 6月20日ごろ (6月7日ごろ)         | 7月13日ごろ (7月21日ごろ)       |
| 近畿        | 6月20日ごろ (6月7日ごろ)         | 7月13日ごろ (7月21日ごろ)       |
| 東海        | 6月21日ごろ (6月8日ごろ)         | 7月15日ごろ (7月21日ごろ)       |
| 関東甲信      | 6月7日ごろ (6月8日ごろ)          | 7月6日ごろ (7月21日ごろ)        |
| <b>北陸</b> | <b>6月25日ごろ (6月12日ごろ)</b> | <b>8月2日ごろ (7月24日ごろ)</b> |
| 東北南部      | 6月30日ごろ (6月12日ごろ)        | 特定しない (7月25日ごろ)         |
| 東北北部      | 7月1日ごろ (6月14日ごろ)         | 特定しない (7月28日ごろ)         |

北陸地方（新潟県・富山県・石川県・福井県）の今年の梅雨入りの時期は「6月25日ごろ」で、「平年よりかなり遅い」梅雨入りであり、昨年（6月13日ごろ）より12日遅かった（「平年よりかなり遅い」範囲は6月24日以降）。これまでの最遅は6月28日ごろ（1958年・1987年）で、6月25日ごろの梅雨入りは、これまでの遅い順から4位タイ（同順位は1967年）となった。

また、梅雨明けの時期は「8月2日ごろ」で、「平年より遅い」梅雨明けであり、昨年（7月19日ごろ）より14日遅かった（「平年より遅い」範囲は7月28日～8月4日）。これまでの最遅は8月14日ごろ（1991年）で、8月2日ごろの梅雨明けは、これまでの遅い順から5位となる。

北陸地方は、当初の梅雨入りの発表日（6月21日ごろ）以後も晴れて日照時間が5時間以上の日（以下、好天日）が継続したが、その後は6月25日からは前線が本州南岸に停滞して福井県などから日照時間が5時間未満の日（以下、悪天日）が多くなった。このような天候経過から、事後検討により梅雨入りは6月25日ごろに確定する。梅雨明けについては、7月下旬に前線が北陸地方に停滞して北陸各地で大雨となり、7月末にかけて気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かったが、8月2日から高気圧に覆われて好天日が続いたため、当初発表日（8月2日ごろ）のとおりで確定する。

注1：梅雨入り・明けの時期は、過去の実況と数日から1週間程度の天候予想に基づいて、「梅雨の時期に関する北陸地方気象情報」として速報的に発表（当初発表）する。後日、天候の経過を考慮して再検討したうえで確定する（事後検討）。記録として残るのは、この事後検討の値である。

注2：梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間がある。その遷移期間の概ね中日をもって「\*\*日ごろ」と表現する。

## 2 北陸地方の梅雨の時期（6月～7月）の降水量

北陸地方の梅雨の時期（6月～7月）の降水量平年比は133%で、「多い」階級となった（多いの範囲は118～141%）。なお、1946年以降で6月～7月の降水量が最も少ない年は1994年（平年比36%）で、最も多い年は1964年（平年比175%）である。

各地の梅雨の時期（6月～7月）の降水量は表2のとおりである。6月の階級は、新潟と金沢で「かなり少ない」、その他の地点は全て「少ない」となり、北陸地方平均としては「少ない」階級となった。一方、7月の階級は、福井と敦賀は「平年並」だったが、新潟と佐渡、富山と伏木、金沢は「かなり多い」で、高田、輪島は「多い」階級となった。北陸地方平均としては「かなり多い」階級となった。

同時期の最大日降水量、最大1時間降水量、最大10分間降水量は表3のとおりである。

表2 梅雨の時期の降水量

| 地点 | 6月          |            | 7月          |            | 6月～7月合計     |             |            |
|----|-------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|------------|
|    | 降水量<br>(mm) | 平年比<br>(%) | 降水量<br>(mm) | 平年比<br>(%) | 降水量<br>(mm) | 平年値<br>(mm) | 平年比<br>(%) |
| 新潟 | 48.0        | 38         | 443.0       | 231        | 491.0       | 320.0       | 153        |
| 相川 | 71.5        | 56         | 430.0)      | 250        | 501.5       | 300.8       | 167        |
| 高田 | 88.0        | 61         | 414.0       | 197        | 502.0       | 355.9       | 141        |
| 富山 | 103.5       | 57         | 579.0       | 241        | 682.5       | 423.0       | 161        |
| 伏木 | 101.0       | 60         | 566.0       | 243        | 667.0       | 401.5       | 166        |
| 金沢 | 85.0        | 46         | 526.5       | 227        | 611.5       | 417.0       | 147        |
| 輪島 | 116.0       | 71         | 284.0       | 141        | 400.0       | 365.2       | 110        |
| 福井 | 92.5        | 56         | 237.5       | 102        | 330.0       | 399.9       | 83         |
| 敦賀 | 86.0        | 52         | 178.5       | 91         | 264.5       | 361.5       | 73         |

表3 梅雨の時期の最大日降水量、最大1時間降水量、最大10分間降水量

| 地点 | 最大日降水量<br>(mm) (月日) | 最大1時間降水量<br>(mm) (月日) | 最大10分間降水量<br>(mm) (月日) |
|----|---------------------|-----------------------|------------------------|
| 新潟 | 121.0 (7.24)        | 29.5 (7.25)           | 10.0 (7.25)            |
| 相川 | 119.0) (7.23)       | 57.0 (7.18)           | 20.0 (7.17)            |
| 高田 | 173.5 (7.1)         | 25.0 (7.1)            | 8.5 (7.4)              |
| 富山 | 148.0 (7.25)        | 38.0 (7.1)            | 14.5 (7.1)             |
| 伏木 | 175.0 (7.1)         | 31.5 (7.1)            | 10.0 (7.3)             |
| 金沢 | 110.5 (7.1)         | 61.5 (7.4)            | 19.0 (7.4)             |
| 輪島 | 78.5 (7.23)         | 55.0 (7.23)           | 14.0 (7.3)             |
| 福井 | 58.0 (7.4)          | 26.0 (7.11)           | 12.5 (7.11)            |
| 敦賀 | 60.0 (7.4)          | 22.5 (7.4)            | 10.5 (6.1)             |

(注) 値の横に)や]がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示す。

)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値(資料不足値)については、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を気象台等に確認して、品質を確かめてから使用されたい。

### 3 梅雨の特徴

平成29年の梅雨入りと梅雨明けの階級は以下のとおりである。

#### 梅雨入り

- ・かなり早い：なし
- ・早 い：なし
- ・平 年 並：奄美、関東甲信
- ・遅 い：沖縄、九州南部
- ・かなり遅い：九州北部、四国、中国、近畿、東海、北陸、東北南部、東北北部
- ・特定しない：なし

#### 梅雨明け

- ・かなり早い：中国、関東甲信
- ・早 い：九州北部、四国、近畿、東海
- ・平 年 並：沖縄、奄美、九州南部
- ・遅 い：北陸
- ・かなり遅い：なし
- ・特定しない：東北南部、東北北部

梅雨入りは平年よりかなり遅い地方が多かった。一方、梅雨明けは平年並から平年より早い地方が多く、北陸地方は平年より遅い梅雨明けとなり、東北南部と東北北部は梅雨明けの特定はしなかった。

梅雨の時期の降水量（6～7月。沖縄と奄美は5～6月。）は、北陸と東北南部、東北北部で平年より多く、沖縄と九州南部は平年並で、東海は平年よりかなり少なかった。その他の地方は平年より少なかった。

### 4 北陸地方の梅雨の経過

#### (1) 6月の経過

上旬は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、中旬以降は移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かった。下旬は梅雨前線が本州南岸に北上して停滞し、曇りの日が続いたことから、北陸地方は6月25日ごろに梅雨入りした。

6月の平均（合計）と旬別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

| 北陸地方平均  | 6月    | 上旬    | 中旬     | 下旬   |
|---------|-------|-------|--------|------|
| 平均気温平年差 | -1.2  | -1.5  | -2.0   | -0.1 |
| 階級      | かなり低い | かなり低い | かなり低い  | 平年並  |
| 降水量平年比  | 55%   | 168%  | 4%     | 49%  |
| 階級      | 少ない   | 多い    | かなり少ない | 少ない  |
| 日照時間平年比 | 129%  | 97%   | 149%   | 157% |
| 階級      | かなり多い | 平年並   | かなり多い  | 多い   |

北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したものである。

北陸地方気象官署及び特別地域気象観測所（相川、高田、伏木、輪島、敦賀）における6月の主な月間気象要素の累年極値および順位（3位以内）更新一覧表

- ・月間気象要素の累年極値および順位（3位以内）更新はなかった。

（2）7月の経過

上旬の前半は梅雨前線の影響で雨の日が多く、北陸各地で大雨となったが、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。中旬は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や梅雨前線の影響で曇りや雨の日もあり、天気は周期的に変わった。下旬の前半は活動の活発な梅雨前線が日本海を南下した後北陸地方に停滞し、23日から26日にかけて北陸各地で大雨となった。その後は前線が不明瞭となったが、7月末にかけて気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かった。

7月の平均（合計）と旬別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

| 北陸地方平均  | 7月    | 上旬    | 中旬    | 下旬    |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 平均気温平年差 | +1.8  | +1.8  | +3.1  | +0.5  |
| 階級      | かなり高い | 高い    | かなり高い | 平年並   |
| 降水量平年比  | 191%  | 238%  | 59%   | 396%  |
| 階級      | かなり多い | かなり多い | 少ない   | かなり多い |
| 日照時間平年比 | 117%  | 143%  | 175%  | 70%   |
| 階級      | 平年並   | 多い    | かなり多い | 少ない   |

北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したものである。

北陸地方気象官署及び特別地域気象観測所（相川、高田、伏木、輪島、敦賀）における7月の主な月間気象要素の累年極値および順位（3位以内）更新一覧表

- ・月平均気温 高い方から

| 月 | 順位 | 地点名 | 月平均気温 | 平年差  | これまでの最高<br>（西暦年） | 統計開始<br>（西暦年） | 平年値  |
|---|----|-----|-------|------|------------------|---------------|------|
| 7 | 1  | 輪島  | 26.0  | +2.1 | 25.9 (1978)      | 1929          | 23.9 |
| 7 | 3  | 福井  | 27.5  | +1.9 | 27.8 (1978)      | 1897          | 25.6 |
| 7 | 3  | 敦賀  | 27.7  | +1.9 | 28.2 (1978)      | 1898          | 25.8 |

- ・月降水量 多い方から

| 月 | 順位 | 地点名 | 月降水量<br>（mm） | 平年差<br>（mm） | これまでの最高<br>（mm）（西暦年） | 統計開始<br>（西暦年） | 平年値<br>（mm） |
|---|----|-----|--------------|-------------|----------------------|---------------|-------------|
| 7 | 1  | 伏木  | 566.0        | +332.7      | 559.5 (1995)         | 1884          | 233.3       |
| 7 | 2  | 富山  | 579.0        | +338.6      | 592.6 (1964)         | 1939          | 240.4       |
| 7 | 3  | 新潟  | 443.0        | +250.9      | 511.8 (1958)         | 1881          | 192.1       |

- ・月間日照時間の累年極値および順位(3位以内)の更新はなかった。